



郡山市立片平中学校



はじめに

郡山市は、令和元年に県内で初めて「SDGs 未来都市」に選ばれ、将来世代につなぐ持続可能なまちづくりを進めるため、SDGsの達成に向けた取り組みを推進しています。また、郡山市の学校教育推進構想においても、学校の教育活動全体を通してSDGsの理解を深める活動が施策としてあげられています。本校でも、誰もができるSDGsとして取り組んでいます。

本校での取り組み

(1) 節水・節電の呼びかけ

手洗い場やスイッチに、節水・節電を呼びかけるポスターを掲示するとともにこまめに蛇口を閉めることや、特別教室への移動の際には蛍光灯を消すよう生徒へ呼びかけた。

また、各月の水道使用量・電気使用量を昨年度と比較したグラフを職員室に掲示し、教職員への呼びかけも行った。



(2) 学校における環境保全活動

印刷物に裏紙を利用し、紙資源の節約に努めている。また、エコキャップの収集、生徒会役員を中心に通年でリサイクル活動を行っている。



(3) 学校における環境教育

各教科の年間指導計画で、環境教育と関連する単元を選択し、環境教育について重点的に指導した。また、家庭科では、環境問題と関連させてエコバック制作を行い、使用するよう呼びかけた。

① 社会科 地理的分野 「日本の様々な地域」

地形や気候、国土の特色から、自然災害と防災への取り組みについて理解を深めた。

② 理科 第2分野 「自然の恵みと災害」

自然災害について調べ、自然と生活との関わりについて理解を深めた。

③ 技術・家庭科 家庭分野 「環境に配慮した消費生活」

消費生活から課題を見つけて、環境に配慮した消費生活について理解を深めた



(4) 地域と連携した環境保全活動

本校では、年1回の資源回収を行っている。各家庭に「資源回収のお知らせ」を配付し、新聞紙・雑誌・段ボール・一升瓶・アルミ缶・牛乳パックなどリサイクル可能なものを集めている。地域の方々が各地区の集会所に資源物を持参し、生徒・保護者で学校に資源物を運んでくる。生徒が資源物回収に参加することにより、ごみの分別とリサイクルへの意識が高まってきている。



(5) SDGs 講演会

今年度、さらに生徒への環境保全の意識を高めるためにSDGs講演会を開催した。一般社団法人日本キリバス協会代表理事 ケンタロ・オノさんをお招きして、地球温暖化問題について講演をいただいた。キリバス共和国の危機的な状況と自分たちができることについて熱い気持ちを伝えていただき、生徒も地球環境問題に触れ、自分たちにできることは何かを真剣に考えることができた。



おわりに

今年度、福島議定書で定められた温室効果ガス削減に向けての取り組みの結果、電気や水の使用量が減少した。また、生徒はSDGs講演会を機に環境問題への関心も高まってきている。来年度も、生徒や保護者への理解を図りながらSDGsの実現に向けて取り組んでいきたい。